

建築学生によるコミュニティづくりと再生 イドバタプロジェクト

空き家改修プロジェクト 稲取設計室



#1 イドバタプロジェクトとは？

静岡県賀茂郡東伊豆町稲取にあるベンチを改修し、住民の方々の井戸端会議の場所を守るプロジェクト。
稲取のまちでは住民同士が道端でおしゃべりしている様子をよく見かける。また、街の至る所にベンチが設置されており、そこに座ってお話していることもある。
しかし、中には腐朽や破損しているものもあり、それが理由で住民同士が集まらなくなってしまったベンチもある。
そこで、新しくベンチを新設、既存のベンチの修繕を行うことによって住民の方が再び集まり、おしゃべりできるような場所を再生し、守っていく。



#2 プロジェクト時系列と活動の様子



稲取にて全ベンチの実測・劣化調査

まちの住民の方と会議をして設計案の決定



第2回新設ベンチ施工・既存ベンチ修繕
ワークショップイベント開催



ベンチ新設に向けて設計コンペの実施

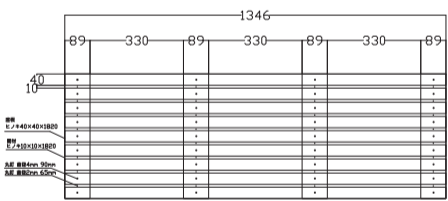


第1回新設ベンチ施工・既存ベンチ修繕
ワークショップイベント開催

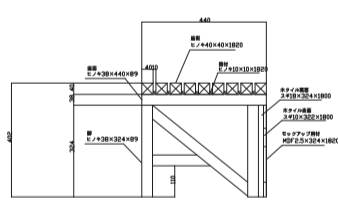


ベンチに関連したまち歩きイベント開催

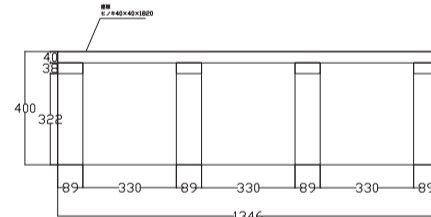
#3 ベンチ新設案図面



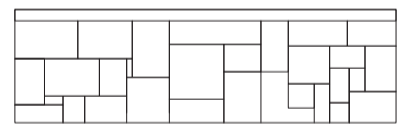
平面図



短手断面図



長手断面図



南側立面図

#4 ベンチの可能性

空き家をリノベーションしたカフェなどの施設が多い稲取で中の様子が外観からはわからないことがある。その時に店舗と道をつなぐ場所にベンチがあれば一休みした時にお店の中の様子が少し見えたりする。つまり、この小さなまちの家具は店舗と道をつなぐきっかけになりえるのではないだろうか。
このプロジェクトを行うことによって、小さな家具であるベンチがまちに点在し、いずれかは稲取のまち全体にベンチから始まるコミュニティが生まれることを目指す。



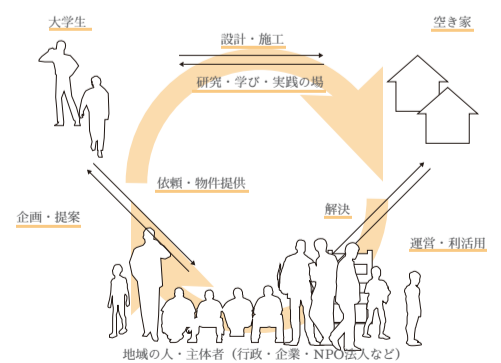
#5 これからの展開

- ・いつもベンチに座っている人など稲取のまちに居場所を作るだけでなく旅先で訪れた観光客との新たな出会いの場となり、稲取にしかないまちの温かさを感じる場所をつくる。
- ・継続的に地元の中学校、高校などでワークショップイベントを行うことによって地元のこどもにもモノづくりの楽しさなどを知ってもらいながら、まちに触れる機会を作る。
- ・ベンチに使う材料を地元の間伐材を使うことによって地産地消できるものづくりを計画する。

#6 空き家改修プロジェクトについて

稲取設計室は今年度で活動9年目で、団体発足から続く唯一の設計室です。
これまでも「ダイロキッチン」や「EASTDOCK」など、現在もまちの人が多く利用されている建物の改修を行ってきました。空き家改修プロジェクトとは、建築を学ぶ有志の学生団体が団体の目的は、「空き家の改修設計・施工を通じた地域活性化」です。

主な活動は設計・施工・運営提案・イベント企画で、学生だけでなく地域の方々と協力して行っています。



代表者：和田卓巳

E-mail : inatori.akiya@gmail.com



稲取設計室 Instagram